



高槻ロータリークラブ

2020~2021

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
 URL <http://www.takatsukirc.org/>
 E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954 年 6 月 15 日

会長 井前憲司 幹事 内本繁 クラブ運営委員長 長山正剛 会報担当副委員長 坂野信一

No.6 2020 年 8 月 19 日 発行

8 月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第 3213 回 本日 (8/19) の例会

- ◎ 卓話 藤田 貴子君
「リニューアル」
- 卓話 伊藤 智秋君
「創立 65 周年記念・高槻ロータリークラブ青少年育成基金事業について」

第 3214 回 次週 (8/26) の例会

- ◎ 卓話 阿佐部 乃介君
「私の履歴書」
- 卓話 浜田 厚男君
「JAL の修行をやってみた」

先々週 (8/5) の例会から

◎ゲスト・ビジター

計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
50 名	45 名	93.75 %
前々回例会補正後出席率 91.67 %		
但し、Mup 1 名 欠席者 4 名		
出席規定適用免除有資格者 1 名		

7月度皆出席表彰

伊藤 智秋君 連続13年
 川畑 孝彦君 通算10年
 坂野 信一君 連続 5年

◎会長の時間

今日はロータリーの歌について話をさせていただきます。ロータリーの例会で歌を歌うのを提唱したのは印刷業のハリーラグルスです。奉仕哲学派と親睦派の対立が激しくなってきたためです。歌うことで一体感を醸成していったのでしょう。では日本ではどうでしょうか。例会の最初に歌われる「奉仕の理想」はいつから始まったか調べてみました。というのは、歌詞に少し違和感があるからです。「御国に捧げん我らの生業」の箇所です。この歌詞が歌われ出したのは昭和10年(1935年)5月5日祇園歌舞練場で第7回地区大会のとき東久邇宮さんが来られた時が最初です。太平洋戦争が始まる5年前、国威発揚のムードがあったのでしょう。そのため多くのクラブが採用したようです。ただし、作曲家前田和一郎さんによると当初の歌詞は「世界に捧げん」であったのが、当時のガバナー村田省蔵さん(大阪商船の社長)は、いわゆる国粋主義者であったため、歌詞を変更するように強く圧力をかけて変更させたとのこと。私も「御国に捧げる」気はあまり無い、むしろ当初の前田さんの歌詞の方がしっくりきます。前田さんの遺言では、できれば元の歌詞に戻して欲しいとのことでした。このあたりをもう少し拡張して状況を見てみましょう。この歌が決まる5年前奉天RCから日本語の歌を歌いたいという要望がきています。それまでは、英語の歌詞を歌っていたようです。当時のロータリーは、日本以外では(当

ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク RI 会長

時は日本でしたが) 京城・大連・奉天・ハルピン・台北に支部があり、ポールハリスもこの年日本のロータリークラブを短時間ですが訪問しています。ただ、国内情勢は激動に向かって2つの流れがありました。主戦派と国際派です。作詞者の前田さんは国際派でこの歌詞が変えられたため京都 RC を退会しています。海外を見ると、中国では日本の対中進出に反対する動きが抗日運動として沸き起こりつつあり、外交ではワシントン海軍軍縮条約破棄、ロンドン海軍軍縮会議脱退と米英との戦争の危機をはらんだ時期でもありました。ロータリー関係では、国内では、1933 年国家社会党京都支部といういかにも右翼という団体が執拗に RC に干渉を行ってきており、特高や軍部もロータリーは海外のスパイではないか、フリーメイソンではないかとの嫌疑で干渉してきていました。ロータリーの「伝統」をいかに守るかで、当時の幹部の方々は相当悩まれたのではないかと思います。妥協策として国旗掲揚や国歌斉唱を取り入れ妥協を続けましたが、抗し切れずついに国際 RC を脱会することになります。最後の RC 退会が横浜で行われました。大政翼賛会が発足し、国民全体が戦争に向かう流れに RC も飲み込まれていきました。

この後敗戦後再び国際 RC に加盟するために数年の時間を要することとなります。この、歌の一言の裏にはこうした歴史があるのを私たちは日頃あまり認識せずに今歌っていますが、小さな流れが積み重なり歴史は大きく動いていくようです。脱退後再加入まで日本ロータリークラブは世界と9年間の空白の歴史が生じました。

◎幹事報告

- ・8月ロータリーレート 1ドル:105円
- ・地区臨時補助金を利用しクラブで購入したマスクと井前会長エレクト(当時)より寄付頂いたマスク、併せて合計22,500枚をコロナウイルス対応のための社会奉仕活動として4/28に高槻市に寄贈した件について、高槻市より御礼状が届いております。また先般、高槻市役所から連絡があり、文化の日に高槻市への支援団体として表彰を受ける事になっております。
- ・ガバナー事務所より“MY ROTARY”がリニューアルされるとの連絡がきております。リニューアル作業に伴い“MY ROTARY”に繋がりにくい状態となっております。リニューアル作業が落ち着くまでしばらくかかりそうですので、ご了承頂きます様よろしく願いいたします。
- ・山口会員より、8/4と8/18に白内障の手術を受ける為8月中の例会はご欠席との連絡をいただいております。
- ・高槻西 RC より概況報告書が届いております。後方テーブルに置いておりますのでご覧下さい。
- ・「例会臨時休会・例会変更のお知らせ」が複数のクラブより届いております。詳しくは事務局へご確認下さい。
- ・事務局夏季休暇は、8/11(火)~8/13(木)となります。通常休業と夏季休暇を合わせると、8/7(金)~8/16(日)が事務局休業日となりますのでご注意下さい。宜しくお願い致します。

◎委員会報告

○クラブ運営委員会

浦中 郁文

・9/13(日)三好の里 BBQ ガーデン(旧かじか荘)にてバーベキューを開催致します。今回は屋内での開催となります。コロナの影響により様々なイベントが中止となっている状況ではございますが、皆さんと一緒に楽しく過ごせるよう計画しておりますので、ご家族の皆様にもぜひご参加いただければと思います。多数の皆様のご参加を宜しくお願い致します。

【日時】2020年9月13日(日)11:30~14:30

【場所】三好の里 BBQ ガーデン

【送迎バス】11:00 京都銀行高槻支店前出発

【登録料】会員・ご家族 7,000円

小学生以下 2,000円

3歳以下 無料

◎卓話

「私の履歴書」

浜田 哲也

6月に入会させて頂きました日本たばこ産業株式会社医薬総合研究所の浜田でございます。改めまして、高槻ロータリークラブに入会させて頂きありがとうございます。

この度は私の半生を披露させていただく機会を頂きましたが、ごく一部を除き「ドラマチック」とか「山あり谷あり」とかとは正反対、流れに身を任せた人生をこれまで送っており、かつ早口ですので、せいぜい10分、ギュッと縮めれば5分もあれば充分なところ、15分時間を頂きましたので、何とか胡麻化しながらお話しさせて頂こうと思います。

まず基本情報から、1971年(昭和46年)8月生まれ、もうすぐ49歳になります。きょうだいはいりません。現在京都市下京区船鉾町というところの賃貸マンションに住んでおり、ご存知かもしれませんが京都の地名は面倒くさくて「京都市下京区新町通綾小路下る船鉾町」が正式名称です。今年は中止になりましたが、祇園祭の「鉾」がたつ町に住んでおります。ちなみに祇園祭の中止は戦争以来のことかと思っていたら、巡行が行われる四条通で、阪急の地下工事が行われた1962(昭和37)年以來のことだそうです。鉾町と聞いて喜んで決めたのですが、祭の間は夜も騒がしく、進行方向も制限され家から出るとなかなか戻れないので、この時期は食料を買い込んで引きこもっています。阪急烏丸駅が最寄り駅で阪急に乗って高槻市駅まで、そこから20分歩いて通勤しており普段は良い運動ですが今の時期は地獄です。家族構成は妻と二人、父母は京田辺市、妻は福岡出身でその父母は福岡在住です。

生まれ育ちをもう少し詳しくお話しさせて頂きます。1971(昭和46)年8月27日、京都市北区、京都府立大学や京都市立植物園の近く、「下鴨」と呼ばれる辺りで生まれ、幼稚園に入るまで育ちました。出生時はへその緒が首に巻き付いており仮死状態、母によると青色で出てきたそうです。10分後に蘇生したので今こうして皆さんの前にいるのですが、これが今後を含めて人生で最もドラマチックな出来事ではないかと思います。記憶にはないのですが、母は出血多量、輸血でC型肝炎となりそのまま入院し、私は祖父母に引き取られました。6年前には進行して肝臓がんになりましたが手術が成功し、おかげさまで現在も年齢なりに元気です。

私の生年月日では「二黒土星」「亥年(辛亥)」「おとめ座(A型)」なのですが、その特徴を都合よくまとめると「愛されキャラだけど、はっきりしない、妙に真面目で面倒くさい人」でしょうか。

母の体調が落ち着いたので父母と一緒に暮らすことになり、先に父母が転居していた京田辺市（当時田辺町）に転居しました。祖父母の家（下鴨）に帰りたがるわ、両親に懐かないわで随分苦労を掛けたようで、未だに恨みつらみを言われますが、両親には申し訳ないですが私は記憶にございません。地元の小学校へ入り、そのまま中学校へというつもりだったのですが、「荒れる中学校」を目の当たりにして他の学校へ行こうと塾に通いました。当時興味があった天文部があるということで志望した私立中高一貫校に入学し、念願の天文部に入ったのですがどうにも性に合わず半年で退部し、その後地理部（鉄道同好会）、生物部と転々としましたが全て幽霊部員でした。これと言って情熱を注いだものもなく、日々だらだら過ごしていた記憶しか残っていません。当然成績も悪く、駿台予備学校で浪人生活に入りましたが、ここで現在の妻と出会いました。これが人生で2番目にドラマチックな出来事でしょうか。付き合いながら勉強も一応して、とこれまでで一番日々充実していたような気がします。翌年二人で同じ大学に入学しました。大学でも部活はせず、経済的事情から下宿できず京田辺から神戸まで通学していましたが、2時間ほどかかるので自然と学校から足は遠のき、たまに学校へ行けば今度は帰るのが面倒になり友人の下宿に居候したりと自堕落な生活を続けておりましたが、卒業前の1月にあの大震災が起きました。亡くなった同級生もおられ、テレビで当時の映像が流れるとチャンネルを変えます。妻は神戸の三宮に住んでいて下宿が半壊しましたが幸運にも傷一つなく助かり、そのまま私の実家に転がり込んで1か月ほど一緒に過ごしました。今思えば舅姑とコミュニケーションを十分取れて結婚前のよい練習だったのかもかもしれません。

同じ年、たばこ好きというだけで志望したJTに入社するのですが、今度は3月に地下鉄サリン事件が発生（弊社社員も1名亡くなっています）、4月からは新入社員研修で東京へいきましたが、サリンをダムにばらまいたとのデマが流れて水道水を飲むなど指令が来たりいろいろありました。就職翌年、それが当たり前なんだろうと思い特に疑問もなく結婚しましたが、それが良かったのかどうかは何とも言えません。

配属は印刷事業部というところで、ポスターやチラシ、カタログを営業で取ってくるという世間一般の印刷会社と同じでした。正直入社するまでそんな部門があるとは知りませんでした。事務所は難波でしたが妻は姫路市役所へ勤めることになり、住まいでは一悶着ありましたが姫路に住むことになりました。大学が神戸だったこともあり神戸から姫路までを担当し、基本直行直帰、週一程度難波の事務所へ出社ということで、随分自由に過ごさせてもらいました。2年後本社（東京港区虎ノ門）へ転勤となり、法学部出身ということで法務部へ異動し、たばこ事業以外の契約審査・法律相談を2年、続いて総務部で株式・株主総会担当を1年、行政対応窓口として主にJTの監督官庁である大蔵省（当時）との連絡調整役を3年の合計4年、次に「リート（不動産投資信託）」という、不動産をまとめて買って証券化・小口化する仕組みを運営する会社へ出向し、社内規程の整備や役員会事務局などの業務を3年、食品部門でまた契約審査・法律相談を2年行い、12年前に今と同じ医薬事業部に所属となりました。最初は人事・広報など何でも屋を7年やりました。5年ほどたったころ先にお話ししました通り母親が肝臓がんになり、私にきょうだいもおらず、加えて父方母方のきょうだい（おじおば）は誰にも子供がおらず、みな高齢になってきており、中には身体障害者もいるため、将来は私が面倒を見ざるを得ないことから、かねてより関西圏への転勤希望を出しておりましたところ、子会社鳥居薬品の京都支店へ、定年

を迎える方の後任として転勤することになりました。その前に時期調整のため医薬総合研究所に3か月だけ腰掛けたのが、私の高槻初体験です。鳥居薬品で4年程度過ごしたのち、現在に至っております。

ざっと会社人生を振り返りますと、たばこを主な事業とする会社に属していながらたばこ事業に携わった経験はなく、ほぼ一貫して間接部門、特に総務系の業務に従事してきました。ジェネラリストは役に立たない、スペシャリストであれと言われるようになって久しく、実際私も部下後輩には「何か尖った強みを持たないと俺みたいになってしまうぞ」と戒めておりますが、本音を言えば誰もが何かに秀でることができるとは思いませんし、特に組織においては誰かが何でも屋になる必要があるのではないかと考えています。そういう意味では法律、人事、広報、株式の業務や「冷凍食品・飲料業界」「不動産業界」「医薬品業界」など浅く広くいろんな経験をさせてもらっており、私のように飽きっぽい人間であることを見極め、転々と異動させながらも雇ってくれている会社には感謝しております。当社はポストオフ制度というものを導入しており、私もあと数年で会社を去ることになりますが、最後のご奉公と思って残りの会社人生を全うしたいと考えております。

最後に少し、JTの医薬事業について簡単にお話しさせていただきます。

まずここ高槻の地で営ませていただいております、医薬総合研究所です。1993年の開所以来、高槻の皆様を支えられ30年近く経過しました。次にJTの医薬事業の全体像です。基礎研究から発売まで一部国境を越えて様々な人間が携わっております。子会社を含めて約1,400名程度の人員と協力会社様に支えられております。医薬品の開発から発売まではおよそ15年程度必要とされていますが、その最初となる基礎研究、ごく簡単に言えば薬の種を見つけて様々な改良を加え、安全性と効果を動物で確かめる、という段階を医薬総合研究所で担っております。子会社の鳥居薬品が開発したスギ花粉症の薬や、海外を含めた他社の開発品を日本に導入したり、JTが開発した薬の種を海外で開発して販売まで仕上げてもらったものもありますが、開所以来、初めてJTグループが一気通貫で薬の種から発売までこぎつけた薬（アトピー皮膚炎の薬）を今年6月下旬に発売しました。世の中身近な病気はかなり良い薬が出ており、治療や改善が困難な病気や領域が残っている状態ですので、年々薬ができるハードルは高くなっています。一説には効き目がありそうだと開発を始めた物質のうち、販売までに至るものは3万分の1と言われます。もちろん開発を始めるまでにその何倍もの候補がありますので、実際にはかなりの低確率となります。

このような状況のもと、当社医薬事業は世界中の病気や苦しむ方を救える新薬の開発に日々勤しんでおりますので、今後とも温かく見守って頂ければこれ以上ありがたいことはございません。

最後に、繰り返しとなりますがこの度は入会させていただき、このような機会を与えてくださり誠にありがとうございます。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

私、森木亮二は1974年昭和49年8月に津之江町に男3人の真ん中に生まれました。父親は高知県宿毛市出身で母親は兵庫県の南あわじ市出身です。

津之江町に生まれ津之江幼稚園、津之江小学校、川西中学校に通いました。高校は小学生のころからやっていたサッカーで推薦を頂き大阪市立柏原高等学校に入学致しました。ですが、クラブの厳しさについていけなくてせっかく入った高校をたった3ヶ月で中退しました。そして、平成2年7月当時15歳で高槻市の整備工場に入社しました。その会社で整備の仕事で3年半修行させていただきました。今思えば原付の免許も無いような社員を雇ってくれた会社がすばらしいと思います。

そして18歳から钣金塗装の工場に入社し塗装の修行をさせていただきました。その工場は5、60人ほどいた大きな工場でその時の私のような塗装工の丁稚奉公が5人ほどいました。その環境が私にはすごく良く誰よりも早く職人になりたい、そんな思いから必死に仕事を覚えました。その会社もすばらしい会社で、仕事が終わってからでも生産にもならない、勉強のためだけに工場の電気を使わせてくれたり、材料も好きなだけ使わせてくれました。今の自分の工場では考えられず、材料の無駄使いなどちくちく言ってしまうです。

その後、钣金塗装工場を3軒ほど転々とし2009年に入社した会社で私の人生観が変わる社長と出会いました。

私は今まで教わってきた技術を全力で目の前の車に注ぎました。ある時その社長が「森木もうそんな自己満足みたいなことやめよーや。目線を鉄板ではなく持ち主のお客様に向けてみろ。ぜんぜん違う作業方法に代わるから。」と言われました。それからどんな質問、どんな疑問にも全て答えてくれました。その時本当の仕事の楽しさってものに気付きました。

そしてその会社に勤めて10年の時にその社長に独立の相談をしました。本来独立の相談なんて勤めている会社の社長にするのもおかしい話なのですが、1999年に父親が他界してから私には父親は居なかったんで、この社長が私の父親代わりをしてきていたんで何でも相談できる相手がこの社長だけでした。相談の結果二言返事で「挑戦してみろ！だめだったらいつでも戻って来い！」そう言っていたら2009年12月の独立開業いたしました。

そのころからこれからの钣金塗装工場は許認可だと考えていたのでそれを実践すべくすぐに法人成りをし、認証工場の許可を取りました。そのころ私に学歴が無いことがコンプレックスでした。そしてそれから会社を切り盛りしながら資格も取れるだけとりました。そして3年前、金属塗装技術国家検定の検定員になれました。そして1年前、自動車整備士の講師の資格を所得しました。一つの夢でもあった、いつか先生と呼ばれたい。それも叶いました。現在は自動車钣金塗装の組合で日本自動車車体協同組合と言うのがありまして大阪の青年部会長をさせて頂いております。

今でも恩師の社長にはいろんな相談にのってもらっていますし、18歳のころに勤めていた好き放題勉強をさせて頂いていた当時の社長さんとゴルフにも行かせて頂いております。かれこれ私の車屋人生31年経ちますが本当にたくさんのすばらしい方に支えていただきました。なにせ、31年車屋しかしていないのであまり語るがありません。私の仕事の履歴書としてはこんなもんです。

ここから少しだけ家族の話をしたと思います。家族構成としては1つ下の45歳の妻と、22歳の長女、18歳の長男、10歳のわんこです。妻とは17歳の時から一緒に居て平成8年22歳の時に結婚致しました。その翌年娘が誕生致しました。それから5年後息子の誕生致しました。娘は幼いころはちょっと変わった性格の持ち主でして、高校進学の際に私CAになると言い出し、中学卒業後石川県の航空学校に住み込みで入学致しました。その後そのまま航空大学に入学しがんばった結果、全日空のCAになることが出来ました。今は仕事で世界中を飛び回っております。次に息子ですが、息子の幼いころちょうど私が独立したころでもありましてあまり遊びに連れて行けなかったのです。その時私と唯一遊べるのがその時私が始めたゴルフだけでした。毎週練習場に行きあそここの籠に3球入ればおもちゃを買ってあげるみたいなことをして遊んでいました。息子も幼稚園のころからサッカーをしていたのですが、高校進学をゴルフする為に大阪学院に入学しました。今現在毎日ゴルフに明け暮れております。最後に妻ですが、私のバカな遊びも理解してくれて、まああきらめてるだけだとは思いますが毎日温かいごはんを食べさせてくれる良き妻です。

最後にこのロータリーの入会についてですが、最初はロータリーが何なのか全くわからないまま、藤松さん、飯田さんの少し強引な勧誘にノーと言えず入会する事になりました。ですが入会后、今日からロータリアンを読んでその中にある「奉仕の理念」に目が止まりました。私が独立した当初、とにかく出来る限り仕事をする、みたいな事をしていました。寝るのも惜しんで仕事をしました。その結果勤めていた頃の何十倍のお金を手にしました。ですが1年ほどした時、楽しさというものが全く感じていなかったのです。そこで私は本当に楽しい、やりがいのある事は何か考え直しました。僕自身、人の喜びが自分の喜び、それが自分だった事を頭に入れ経営方針をそれに切り替えました。そしたら毎日が楽しく、やりがいも出て、結果以前より沢山のお客様に喜んでもらえていると思います。これから「奉仕の理念」を学び楽しい人生を送って行きたいと思います。こんな私ですがよろしく願いいたします。



◎8/5 卓上花

ケイトウ ……おしゃれ

リンドウ ……誠実

◎ニコニコ箱報告

- ・誕生記念内祝 浜田哲君、本多君、川畑君、松尾君、森木君、中西君（熱中症、コロナに気を付けて下さい。）
並木君、白石君（とうとう後期高齢者になりました。本日は浜田さん、森木さん、卓話ありがとうございます。）
- ・結婚記念内祝 光本君（ありがとうございます!!）
- ・入会記念内祝 羽根田君、橋本君、井前君、岩井君、長井君、並木君（慣れない中皆様のお陰で1年経ちました。これからも宜しくお願いします。）
- ・創業記念内祝 高木君
- ・皆出席内祝 入谷君、河合君
藤田君（暑中お見舞い申し上げます。皆様、お身体を大切にします様に。）
- ・ベネファクター表彰いただいてありがとうございました。 浜田厚君
- ・卓話をお聞き頂きありがとうございます。 浜田哲君
- ・卓話を聞いて頂きましてありがとうございました。 馬淵君

本日の合計 ￥ 110,000-
7/1 よりの累計 ￥ 388,000-

◎R 財団への寄付

羽根田茂子君 ￥ 5,000- 本多 了君 ￥ 5,000-
川畑 孝彦君 ￥ 5,000- 河合 一人君 ￥ 5,000-
松尾 浩君 ￥ 5,000- 長井 正樹君 ￥ 5,000-
白石 純一君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 35,000-
7/1 よりの累計 ￥ 185,000-
年次基金会員より ￥ 185,000-
ポリオプラス会員より ￥ 0-
一人当たり平均 \$ 35.24

◎米山奨学会への寄付

浜田 厚男君 ￥ 5,000- 入谷 治夫君 ￥ 5,000-
岩井 祐造君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 15,000-
7/1 よりの累計 ￥ 192,500-
会員より ￥ 70,000-
クラブより ￥ 122,500-
一人当たり平均 ￥ 3,850-

◎青少年育成基金への寄付

井前 憲司君 ￥ 5,000-

本日の合計 ￥ 5,000-
7/1 よりの累計 ￥ 35,000-

2020-2021 年 度 例 会 プ ロ グ ラ ム

月	日	内 容	例会後の行事	備 考
8月	12	定款による休会(祝日を含む週)		会員増強・新クラブ結成推進月間
	19	卓話(藤田君・伊藤君)		IAC 海外研修中止
	26	私の履歴書(阿佐部君)/卓話(浜田厚君)		* クラブ組織委員会
9月	2	記念月御祝/卓話(羽根田君・長井君)	定例理事会	基本的教育と識字率向上月間/ ロータリーの友月間
	9	ガバナー補佐訪問 私の履歴書(赤羽君)/卓話(香西君)	クラブアッセンブリー	9/13(日)親睦 BBQ
	16	卓話(浦中君)		秋の RYLA セミナー(9/19~21) 中止
	23	ガバナー公式訪問		
	30	定款による休会		* 社会奉仕委員会
10月	7	記念月御祝/卓話(飯田君・松下君)	定例理事会	地域社会の経済発展月間/米山月間
	14	卓話(山口君)		
	21	卓話(入谷君・西本君)		
	28	卓話(古川君・岩崎君)		* 職業奉仕委員会